

核心評論 ■ 鏡映しの左派とMAGA

「米民主党のエネルギーは依然として急進左派にある。トランプ大統領を支持する右派の『MAGA(米国を再び偉大に)』運動と同じように重要だが、はるかに過小評価されている」

今年夏、主導国なき「Gゼロ」を唱えた米国際政治学者イアン・ブレマー氏が創業したりスク分析会社「ユーラシア・グループ」のクリフ・カプチャン会長は取材にそう述べた。

その言葉を裏付けるように、急進左派ゾーラン・マムダニ氏(34)がニューヨーク市長選に勝利した。民主党主流派だった有力者クオモ前ニューヨーク州知事(67)を下したのである。

カプチャン氏が「急進左派はトランプ氏を押し上げたMAGA派と同じように重要」と強調するのは、信じる価値観こそ異なるものの、左右両派が「同じ憤り」を抱えているからだ。

その憤りとは何か。毎日を生

きていくのに精いっぱいの労働者やシングルマザーの苦しみを忘れ、保身と私益に身をやつす既成政治家らへの怒りだ。

背景には著しい格差がある。米国では上位1%の大金持ちが国富の3割を占有する。所得格差を示す「ジニ係数」は先進7カ国で最も高い。

ここ数年、高水準で推移してきたインフレが追い打ちをかける。ニューヨーク市内の卵1パック(12個入り)の価格は10ドル(約1500円)前後。高級スーパーはもっと高い。

だからこそ、マムダニ氏は体制エリートに反旗を翻す。「大金持ちは存在すべきではない」と公言し、富裕層への増税と同時に家賃の値上げ凍結や市バス無料化を公約に掲げてきた。

「飢餓に苦しむ土地の人々に自由を説くことはできない」との格言を引き、物価高や生活苦を是正しなければ、トランプ氏

の強権政治を批判しても「労働者にとつて何の役にも立たない」と党主流派を突き上げる。

トランプ氏は「マムダニ氏は共産主義者」と非難する。単なる左派攻撃ではないだろう。1年後の中間選挙をにらみ、左派と「同じ憤り」を抱く自身の支持層を引き締めるとともに、急進左派への支持の広がりを阻止する狙いがある。

両氏は「反グローバル化・反エリート」という土壌に咲く鏡映しの花である。トランプ氏は右に、マムダニ氏は左に傾いているが、根っこは同じ。共に保護主義的で自国第一だ。

マムダニ氏は2016年と2020年大統領選の民主党予備選で旋風を起こした「民主社会主義者」サンダース上院議員の嫡流にある。MAGA全盛でも衰えない左派ポピュリズム。超大国は両極に引き裂かれている。

(共同通信編集委員 川北重吾)

左の記事を読み、下の(注)を参考にして下の問いに答えましょう。

(注)【右派】伝統や現状の秩序を尊重しようとする勢力

【左派】「自由」や「平等」の重要性を唱え、これを実現しようとする勢力

1 傍線部①とは何ですか。本文中から21字で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

			～			
--	--	--	---	--	--	--

2 アメリカは国内総生産(GDP)世界一の金持ち国ですが、人々の生活が苦しいのはなぜですか。その理由を本文中から2つ、漢字4文字とカタカナ4文字で抜き出しましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--

3 新しいニューヨーク市長マムダニ氏は具体的に何をしようとしていますか。26字で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

			～			
--	--	--	---	--	--	--

4 傍線部②の花の根は何だと言っていますか。本文中から1文で抜き出し、最初の3文字を書きましょう。

--	--	--

NIEワークシートのこたえ（2025年11月10日公開）

◆ワークシート「アメリカの分断(社会)」 2025.11.9付 朝刊 4面 解答

- 1 保身と ～ の怒り
- 2 所得格差 インフレ (順不同)
- 3 富裕層 ～ 無料化
- 4 共に保